



4月の生活目標



- 元気に進んであいさつをしよう。
- 「はい」と返事をしっかりしよう。



平成29年度 退任式

4月14日(金)の第5校時に、2～6年生が参加して＜退任式＞が行われました。児童の代表が、「お別れの言葉」と「花束」を贈り、退任式に出席された3名の先生方一人一人(竹口理口子先生、前口早合先生、宮口千口子先生)から、児童への“最後の言葉”となる「ごあいさつ」がありました。

式次第	1 転退任職員入場 (校長先導)	6 花束贈呈 ・竹澤先生へ (水口 日口⑥) ・前原先生へ (山口 直口②) ・宮沢先生へ (落口 涼⑤)	
	2 開式の言葉 (教頭)	7 転退任職員あいさつ (竹口先生・前口先生・宮口先生)	
	3 校歌斉唱 (伴奏：城口 理口⑥)	8 閉式の言葉 (教頭)	
	4 転退任職員の紹介 (校長)	9 お見送り (全員でアーチを作って)	
	5 児童お別れの言葉 ・竹澤先生へ (森口 菜口⑥) ・前原先生へ (那口 光⑥) ・宮沢先生へ (田口 羚口⑤)		



【お別れの言葉・花束贈呈】



【竹口先生のごあいさつとピアノ演奏】



【前口先生のごあいさつ】



【宮口先生のごあいさつ】



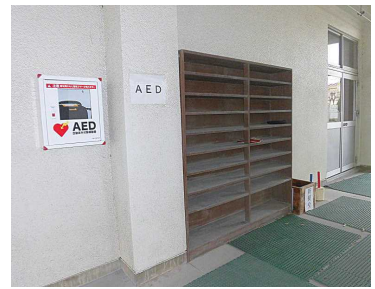
【退任職員お見送り】



【退任職員お見送り】

AEDを屋外に設置 … 1舎と体育館の間にある通路の壁

これまで、児童が学校にいる間は職員室に、児童が下校した後は体育館玄関内（学校開放での体育館利用者のため）に移動して置いていたAEDを、市役所から配付された専用の収納ボックスに入れて屋外に設置しました。これにより、学校開放で校庭を利用する際にも、もしもの場合に、使用しやすくなりましたので、公民館を通じて学校開放利用団体に周知しました。



ご存知のように、「AED」とは「自動体外式除細動器」のことで、「心停止」には、「電気ショックが必要となる“心室細動（心臓が痙攣することによって血液を送り出せなくなる不整脈）”によるもの」と、「電気ショックが必要でないもの」とがあり、AEDを使用すると、AEDが心臓の状態を自動的に解析・判断して、電気ショックが必要かどうかを教えてください。そして、必要な場合には、電気ショックを行うことで「心室細動」を止めて、正しい心臓のリズムに戻してくれます。

北小に設置してあるAED（LIFEPAK CR Plus 除細動器）の使い方は以下の通りですので、学校開放で体育館や校庭を使用する保護者の皆さんは、もしもの時には“躊躇することなく”AEDを使用してください。収納ボックスの中にも「操作手順」が入っています。AEDからの【音声指示】に従って操作することが重要です。

<心停止を確認し、「蓋開放/ON-OFF」を押し、AEDの蓋を開ける>

「心停止」している（意識がない、反応がない、呼吸がない）ことを確認します。AEDの蓋を開けると、自動的に電源スイッチが入ります。電源が入ると【音声指示】が始まりますので、それに従って以下の操作をしていきます。

【音声指示 … 直ちに助けを呼んでください。】

→ 119番通報をして、救急車（救急隊）を要請します。

【音声指示 … 服を取り除き胸部を出してください。】

→ 心停止している人の胸をはだけて露出させます。胸が濡れていたり汚れていたりする場合は、布やタオルで拭き取って乾かします。



<電極パッドを取り出して胸に張り付ける>

【音声指示 … 赤のハンドルを引いて、バッグを開いてください。】

→ 赤色のハンドル引いてをバッグを開封し、電極パッドを取り出します。

【音声指示 … （もう一つの）パッドを青の台紙から剥がします。】

→ 2つの電極パッドを青色の台紙から剥がします。

【音声指示 … パッドを素肌に、絵のとおり張り付けます。しっかり押し付けます。】

→ それぞれの電極パッドに付いている絵のとおり、胸に直接押しつけて貼ります。

<AEDによる心電図の解析を待つ>

電極パッドを貼ると、AEDが自動的に心電図の解析を始めます。

【音声指示 … 体に触れないでください。心電図を調べています。】

→ 解析中は、絶対に体に触れないようにします。

→ 【音声指示 … 体が動いています。動きを止めてください。】

→ 10秒以内に動きを止め、心停止している人から離れます。

<解析結果を確認する = ◆電気ショックが必要と解析 ◇電気ショックは不要と解析>

◆【音声指示 … 電気ショックの準備をしています。】

◆【音声指示 … 全員離れてください。点滅しているボタンを押してください。】

→ ショックボタンを押します。

◆【音声指示 … ショックが完了しました。】

◇【音声指示 … 電気ショックは必要ありません。】



<◆であっても◇であっても、心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）を行う>

【音声指示 … 胸骨圧迫と人工呼吸を行ってください。】

【音声指示 … 呼吸や意識が戻るまで、心肺蘇生を続けてください。】

→ 2分間、この音声指示が繰り返し流れる間、心肺蘇生を続けます。

→ 心肺蘇生は、胸骨圧迫30回（強く＝成人は5cm、小児は胸の厚さの1/3、速く＝100回/分、絶え間なく＝中断しない）と人工呼吸2回を繰り返します。

人工呼吸ができない場合やためらわれる場合は胸骨圧迫のみを行います。

<2分後に再び、AEDによる心電図の解析が始まるので、その解析結果を確認する>

→ ◆又は◇の【音声指示】があるので、それに従います。

→ 心停止している人が動き出さず、救急隊に引き継ぐまで、AEDと心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）を繰り返します。また、心停止している人が動き出しても、救急隊が到着するまでは、電極パッドを貼ったままの状態で見守ります。

